

(款) 55教育費 (項) 20社会教育費 (目) 10文化財保護費

◎世界遺産に係る史跡等準備の経費

保存管理計画策定事業

【 世界遺産登録推進担当 】

【総合計画上の位置づけ】

歴史を継承し、文化を創造するまち

歴史環境:豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまち

【事業の目的】

対象 「武家の古都・鎌倉」の歴史的遺産

意図 対象候補遺産の保存管理計画策定、国指定史跡指定申請等の世界遺産登録推薦に必要な準備を進めるため。

効果 世界遺産登録推薦のための準備業務が推進されること

【事業の内容】

(1) 保存管理計画策定事業

- ・対象候補遺産ごとに国指定史跡の保存管理計画策定業務を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

世界遺産に係る史跡等の準備(2-1-6-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,257	14,135	14,013		122
主な支出内訳				
・保存管理計画策定事業				
保存管理計画策定委員会委員等謝礼				174
保存管理計画策定業務委託料				13,839
主な特定財源				
・国県支出金				9,333

事務事業評価シート

[illegible]

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 世界遺産登録に向けて必要となる保存管理計画の策定、国指定史跡の追加指定及び管理団体の指定
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 保存管理計画の策定にあたっては、史跡管理者等の意向を十分に踏まえたものとする必要があり、継続的かつ綿密な協議を実施したことで、計画策定に向けた諸準備が進展した。また、史跡の追加指定や管理団体指定については、土地所有者等と継続的な協議を進めたことで、多くの地権者等から承諾が得られ、候補資産となる国指定史跡の追加指定がなされるとともに、市が社寺以外の史跡の管理団体となることに関する準備が進展した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 世界遺産登録に向けて必要となる保存管理計画の策定及び管理団体の指定
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 保存管理計画については、その内容について一定の協議が進んでおり、積極的に計画の策定にむけた取り組みを進める。また、管理団体の指定については、継続して土地所有者の理解を求めていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	世界遺産の対象候補遺産の条件となる国指定史跡の保存管理計画の策定及び管理団体の指定については、世界遺産登録に向けた準備作業として、引き続き進めていく必要がある。		
担当課長氏名:		世界遺産登録推進担当担当課長 宇高 毅	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	鎌倉が世界遺産一覧表へ登載されるためには、地元自治体の実施しなければならない準備作業を確実に遂行する必要がある。今後も、関係機関等の支援と協力を得ながら、計画的かつ効率的な事務の実施を図ることとする。		
担当部名	世界遺産登録推進担当	部長名	島田正樹